

善福寺川周辺の樹木と野草

~~野草シリーズ~~

林 静(S45 経)

第4回目、野草シリーズの第2回第1弾は、善福寺川周辺で、「よく見かける草花-2」をご紹介します。この辺の写真は季節外れに咲いていたものを慌てて写したのも入っており見づらくてすみません。

(写真1)

(写真1)は、「ナガミヒナゲシ(長実雛罌粟)」の花です。4月頃に写真よりももう少し濃いオレンジ色の花を一面に咲かせますので、綺麗だな…とと思ってご覧になった方も多いことと思います。直径5cm、高さ50cmほどの花です。咲いた後の実の形がやや長いので、この名が付いたようです。観賞用に輸入されたものが野生化したもので、見つけたら、庭に植えたくなるほど綺麗な花です。



(写真2)



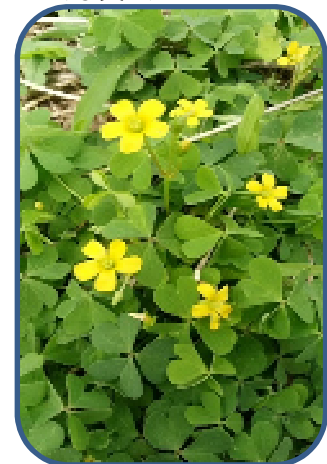
左は、「クサノオウ(草の黄)」

(写真2)です。6月頃、市街地のコンクリートの隙間からも芽を出して、鮮やかな黄色い2cm程の花を咲かせるたくましい野草です。

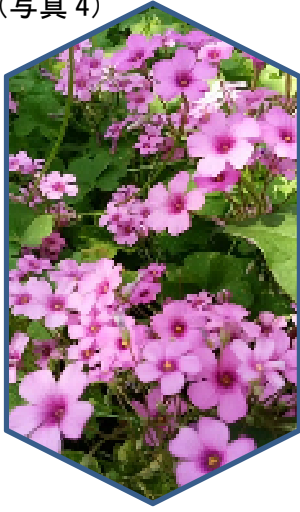
昨年、実があったので触ってみた後、その指をなめたら、すごく苦かったです。茎を折ると、黄色い液が出てきて、時にかぶれることもあるそうです。お気をつけください。

(写真3)

(写真3)は、「カタバミ(傍食)」です。どこでも見かける雑草の典型です。家の庭では、抜いても抜いても生えてくる厄介な草です。でも、野原で見ると、1cmほどのとても鮮やかな黄色い花がとてもきれいです。この草で10円玉を洗うと、金ピカになるというのでやってみました。確かに新品の10円玉に近い色になりました。シュウ酸を含んでいるからだそうです。



(写真4)



(写真4) は、「イモカタバミ(芋傍食)」です。
鮮やかな紫色ですね。6月前後によく咲いているのを見ます。もう少し薄い紫色の花が、ムラサキカタバミ、大きい黄色の花を咲かせるのもありますね(オオキバナカタバミ)。これらは園芸品種で、オキザリスと呼ばれていますので、知っている方も多いと思います。花壇や鉢から逃げ出して、今ではどこにでも咲いているのを見かけるようになりました。